

1 「外国語（英語）科」における「話すこと[発表]」の目標

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。

2 単元名 Unit5 「A Legacy for Peace」 (New Horizon English Course 3 東京書籍)

3 単元を通した「話すこと[発表]」における目標及び評価規準

(1) 目標

来年度の新入生に、学校の先生や学校にあるものについて事実や自分の考えなどを分かりやすく具体的に伝えるために、関係代名詞を活用しながら、メモを手がかりに情報を整理して話すことができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that[which](主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that[which](主格・目的格)を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて話す技能を身につけている。	学校の先生や学校にあるものなどを紹介するために、それらについての詳しい情報を整理して、メモをもとに発表している。	学校の先生や学校にあるものなどを紹介するために、それらについての詳しい情報を整理して、メモをもとに発表しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、インドの民族独立運動の最高指導者であるガンディーを扱っている。自分の身体を犠牲にしてでも非暴力を主張し続けたガンディーの精神は、歴史上指導者となった多くの人物に影響を与え、平等で平和な世界の実現を願う人々のロールモデルの一人となっている。生徒はガンディーの生涯を知ることにより、暴力なき世界の大切さや信念を貫くことの大切さについて考えることができる題材である。また、本課では関係代名詞を新出文法として学習する。人物や物事について情報をさらに付け加えることができることを生徒が理解し、対話や作文において効果的に活用できるようにしていきたい。

(2) 生徒観

本校の第3学年(*名)に外国語(英語)科の学習に関する意識調査を行った。「英語の学習で、苦手な活動は何ですか。」という問いに対して、「英語で自分の考えを説明したりスピーチをしたりすること」と答えた生徒の割合は、*%に達していた。また、「英語で自分の考えを発表した際、あなたには次のどの姿があてはまりましたか。(1つ選択)」という問いに対し、「メモを見たが、話す内容や英語でどのように伝えればよいかを思い浮かべることが難しかった。」という回答が*%、「メモを見て、話す内容を思い浮かべていたが、それに合った英語の表現を使って話すことが難しかった。」という回答が*%に達していた。英語で自分の考えを説明したりスピーチしたりするためには、英語の知識活用と伝えたい情報の整理を同時に行い、論理的に表現することが必要とされる。しかし、ほとんどの生徒がこの知識活用、情報整理、論理的表現力が十分ではないことが分かった。

(3) 指導観

英語を使って論理的に表現する力を育てるために、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で発表する活動(ミニプレゼンテーション)を継続的に取り入れた単元の指導計画をデザインする。はじめに、単元の終末課題として、「身近な人やものについて、自分の考えや気持ちをわかりやすく伝えるために情報を整理し、順序立てて話すことができる。」を目標とする。次に、帯活動で発表(ミニプレゼンテーション)を行う。その際、意識調査の「話す内容を思い浮かべていたが、それに合った英語の表現を使って話すことが難しかった。」という結果を踏まえ、表現に必要な語彙や文法などを、生徒が一人一台端末を使って協力しながら学習支援

ソフト上に集積する。生徒の学習においては、これを Our Dictionary と名付ける。ミニプレゼンテーションでは、発表者と再話者を設定する。発表者は、構成のヒントとなるメモに、Our Dictionary を参考にして語彙や表現を加えながら話す。再話者は、発表者が話した内容をもとに聞き取った言葉を再構築して、グループ内の他のメンバーに即興で伝える。これらの活動を通して、使いたい表現をその都度集積・選択したり、聞いた発表の内容を即座に伝えたりすることで、英語の知識活用と伝えたい情報の整理を同時に行いながら、その場で考えなどを形成することができるようになり、論理的に表現する力を育てることができる。また、発表で用いるメモについても手立てを講じる。生徒が話す内容を思い出しながら順序立てて整理できるように、視覚的に分かりやすく構成されたシートを、教師が用意する。活動の途中には、メモや Our Dictionary の活用状況、生徒の活動状況、生徒の困り感などを教師が把握し、必要に応じて助言する。以上のように、Our Dictionary を活用しながら発表と再話を即興的な発表で相互に作用させることで、論理的に表現する力を育てることができる。と考えた。

5 単元の指導計画（7時間扱い）（○：評定に用いる評価、●：学習改善につなげる評価）

時間	学習内容・活動 (■：ねらい、丸数字：言語活動、※：評価方法)	知	思	態	備考
1	■単元の目標を知る ■教科書の本文を通して聞き、捉えた内容をまとめる ※教師による観察・生徒によるレポート	●			<ul style="list-style-type: none"> ・後日行うパフォーマンステストに向け、生徒は「帯活動（2～5時間の①）」で、身近な話題に関する「話す言語活動（ミニプレゼンテーション）」に取り組み、情報を収集したり、整理したりしながら話ができるようにする。 ・帯活動は次の手順で行う。
2 本時	■自分が憧れている人物やなりたい人物について説明を加えて、友達に分かりやすく伝える ①ミニプレゼンテーション ②関係代名詞 who を用いた文で伝え合う 《本時の流れ》 (1) 言語活動① (2) 関係代名詞 who(目的格)の意味や用法を知る (3) 言語活動② なりたい自分について、「I want to be a person who …」を用いて、友達に伝える (4) 振り返りをし、目標における達成状況を確認する ※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)	●	●	●	
3	■おすすめスポットについて説明を加えて、友達に分かりやすく伝える ①ミニプレゼンテーション ②関係代名詞 that[which]を用いた文で伝え合う ※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)	●	●	●	
4	■自分が観たものや買ったもの、読んだものについて説明を加えて友達に分かりやすく伝える ①ミニプレゼンテーション ②that[which](目的格)を用いた文で伝え合う ※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)	●			
5	■教科書の本文を通して読み、引用などを参照しながらガンディーについてまとめる ①ミニプレゼンテーション ②ガンディーの生涯について、レポートにまとめ、ペアで伝え合う ※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)及びレポート	●	●	●	
6 本時	■新入生説明会に参加する小学校6年生にもわかるように、本校の先生や学校にあるものを具体的に紹介する ①パフォーマンステスト	○	○	○	

	<p>《本時の流れ》</p> <p>(1) 言語活動①</p> <p>ア 本時までで作成したメモをもとにグループ内で相互に練習し、互いにアドバイスをする</p> <p>イ メモを活用しながら、テーマについて自分の考えやその理由を踏まえて、ALT に一人一人話す</p> <p>(2) メモを活用しながらプレゼンテーションの内容を英語で書く</p> <p>(3) 振り返りをし、目標における達成状況を確認する</p> <p>※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)及びICT端末に記録された英文の分析</p>				<p>情報を整理する。</p> <p>・1分程度で話す。ICT端末を用いて、発表内容を音声入力する。英文の分析には、AIを活用する。</p>
7	<p>■ ガンディーの生涯についての情報を整理して、自分の考えや気持ちを加えて伝える</p> <p>① グループでミニプレゼンテーションをする</p> <p>② 数名の生徒がクラスに向けてプレゼンテーションをする</p> <p>※教師による観察・生徒による振り返り(メモシート)及びレポート</p>	○	○	○	<p>・第1時から本時までで教科書からガンディーについて読み取った内容をメモに整理しておく。</p>
後日	ペーパーテスト	○			

6 パフォーマンステストについて

(1) テストの内容

「新入生説明会に参加する小学校6年生に対して本校の先生や学校にあるものを具体的に分かりやすく英語で紹介をしよう。」というテーマについて、メモをもとにプレゼンテーションをする。

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」については、二つの条件を満たしていれば「おおむね満足できる」(b)とする。

条件1：相手が理解できるように事実や自分の考えなどを順序立てて話している。

条件2：自分が紹介したい先生やものについて、説明を加えながら話している。

観点別の採点基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	関係代名詞などを用いながら、誤りのない正しい英文で話すことができる。	二つの条件を満たした上で、具体例を挙げるなどしながら、さらに詳しくプレゼンテーションをしている。	二つの条件を満たした上で、具体例を挙げるなどしながら、さらに詳しくプレゼンテーションをしようとしている。
b	誤りが一部あるが、スピーチの内容が理解できる程度の英文で話すことができる。	二つの条件を満たしてプレゼンテーションをしている。	二つの条件を満たしてプレゼンテーションをしようとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。